

## 新しい学校図書館の機能

筑波大学 平久江祐司

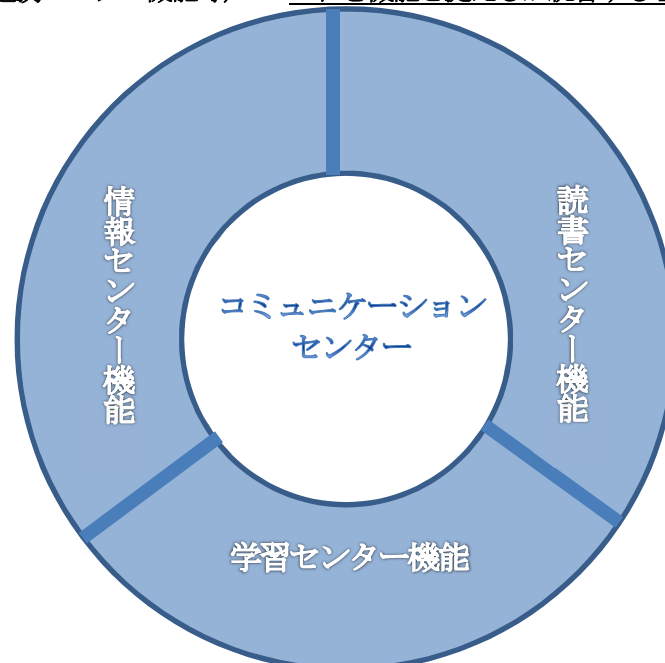
## 近年の学校を取り巻く環境の変化

- ・1995年「児童生徒の読書に関する調査研究協力者会議報告」  
⇒読書センター，学習情報センター機能の提唱
- ・1995年学校図書館情報化・活性化推進モデル地域事業  
⇒学習・情報センター化の推進（学校図書館ネットワーク等）
- ・2001年「子どもの読書活動の推進に関する法律」制定  
⇒基本的な計画策定（地域・社会・学校の連携，公共と学校図書館の連携協力の推進）
- ・2005年「文字・活字文化振興法」制定  
⇒学校教育における「言語力の涵養」（読書指導と利用指導の内容がクロスオーバー）
- ・2008年学習指導要領の改訂  
⇒言語活動の充実，「習得・活用・探究」学習の充実

- 学校図書館に求められる機能は，学習センター，情報センター，読書センター及び連携協力へ
- 言語能力等の新しい教育理念が提唱され，それに対応する新しい学校図書館の包括的な理念が必要
- さらに，近年アジア諸国における学校図書館の整備充実の急速な進展により，これらの国々を先導していく新しい理念・役割が期待

## 新しい学校図書館の役割・考え方のイメージ

- 教育課程の展開に寄与し，児童生徒の健全な教養を育成することを通じて，児童・生徒・教師の言語活動を支援する役割を担う学校図書館
  - (1) 学習センター機能 ⇒学習支援の役割 学び方・学習方法の向上 (活用)
  - (2) 情報センター機能 ⇒情報支援の役割 情報活用能力の育成 (習得)
  - (3) 読書センター機能 ⇒読書支援の役割 読書力の育成 (習得)
  - (4) コミュニケーションセンター機能 ⇒交流(協働)支援の役割 課題/問題解決の実践(探究)  
(or 交流, 協働, 連携センター機能等) \*これを機能と捉えるか統合する理念と捉えるかは検討!



コミュニケーションセンターを中心とする学校図書館の役割関係のイメージ